

5月
2019

ほっとHOTエコプラザ

今月の講座・イベント（要事前申し込み）

11日 (土)	包丁研ぎに挑戦 10:00~11:30 定員6人 参加料500円
12日 (日)	体にやさしい「布ナプキン」作り 10:00~12:00 定員5人 参加料500円
16日 (木)	食品で作る消臭剤「マイエンザ」 10:30~12:00 定員4人 参加料300円
19日 (日)	エコマーケット 10:00~14:00 出店者募集中 出店料500円 おもちゃ病院 10:00~12:00 定員6組 診察料100円
24日 (金)	きもの着付けレッスン（女性） 10:00~12:00 定員4人 参加料500円
27日 (月)	布リメイク「ペンケース」作り 10:00~13:00 定員5人 参加料500円
28日 (火)	ぼかし作成の見学 ~生ごみを土に返すお手伝い~ 10:30~ 定員なし 参加料 無料



包丁研ぎ



エコマーケット



きもの着付け



布リメイク

小学生向け体験学習講座「ペットボトルで空気砲作り&射的ゲーム」

<p>18日 (土) 10時~12時 参加料300円</p> <p>定員 10名 事前申し込み が必要です</p>	<p>空気ので弾が飛ぶ！ 飲み終わったペットボトルで空気砲を作って遊ぼう！</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなで楽しく工作 ペットボトルを切って、好きな絵を描いたり、色を塗ったり。 自分だけの空気砲を作ろう！ 射的ゲーム 環境にまつわるクイズを出題！空気砲を使って、正解を撃ち抜こう！ 	
--	--	--

エコプラザのリデュース・リユース

スーツケース レンタル	1回 300・500円 別途保証金をお預かりします	譲ります 求めます	譲ってもいいもの、求めているものがあれば、 ホームページとエコプラザ掲示板でお知らせします。
包丁研ぎ	1本 500円	えびすFM出演	毎月第2,4月曜日AM11時頃から情報を発信しています。
イスの張り替え	1脚 1,000円~	リユース品の販売	不要品を捨てず、誰かに再利用してもらおう活動です。
まな板削り	1枚 500円	見学案内	工場見学や体験学習を受け付けています。

- 5月の講座、イベント等の申し込みは、
4月16日（火）10時から電話で受け付けます。
- エコマーケットの出店申し込みは、
2ヵ月前から受け付けます。（出店料500円）

申し込み・問い合わせ ☎ 0952-33-0520
 開館時間：10時~17時 水曜日休館
 佐賀市高木瀬町大字長瀬2369（佐賀市清掃工場内）

地球と暮らしと身を守る～エコと防災～

2019年3月10日 in 佐賀市エコプラザ

私たちが生活するこの地球は様々な恵みをもたらしてくれます。しかし、昨今の地球環境の変化により、大きな自然災害が多発しているように見受けられます。突然私たちの暮らしを脅かす自然災害から、生命や大事な財産を守る備えをしなければ、それら全てを失い悲しい思いをすることになるでしょう。緊急の事態に慌ててしまうことのないよう、日ごろからその対策や対処法を身につけておくことを目的に「地球と暮らしと身を守る～エコと防災～」を3月10日に開催しました。



簡単にできるロープワークを実践！ 結んで繋げる命！

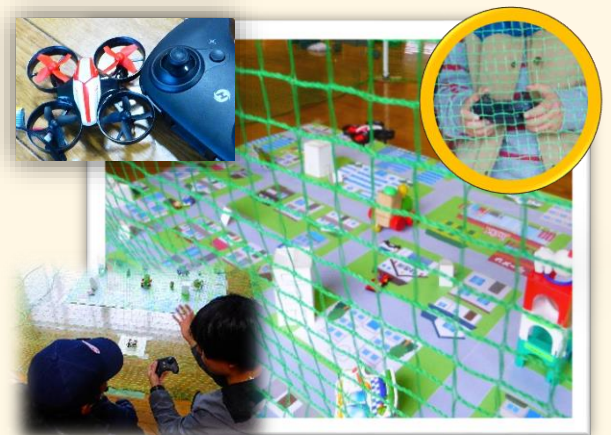
講師に佐賀市消防防災課の方々をお迎えし、防災講座で災害の種類と対策を学び、役立つロープの結び方を数種類、実演講習していただきました。

参加者の声「生活の中でも活かせます！」「家族に教えて完全にマスターしたい」

災害現場で活躍するドローンを ジオラマを作って疑似体験！

被災者の発見や、危険地域の調査等、災害現場でドローンが活用されています。その活躍を知ってもらうため、防災活動支援機構指導のもと、おもちゃや牛乳パックで作ったジオラマの上にトイドローンを飛ばして疑似体験しました。未来の操縦士はここから生まれるかな？

参加者の声「難しかったけど楽しかった！」「苦戦しました」「稽古しなければと思いました」



過去の自然災害から学ぶ 「今、できること」

自然の脅威や被災地の実情を改めて認識し、「備える」意識を持ってもらえるよう、被災地写真、防災グッズ、段ボールを活用したベッド等の展示を行いました。

参加者の声「災害は他人事ではないと自覚」「防災グッズは準備しておかなければ」「ダンボールの強度、デザインに感心しました」「普段から個人が考え、備える必要がある」



「事前に、必要な物を準備しておく」「緊急時に直面して、正しい対処ができる」これらは、今回のようなイベントで実際に学習して体験することで身につく、慌てず対処できるようになると思います。それが命を守り環境を守ることになるでしょう。このイベントを通して、自然災害の抑制に向けて主体的に行動するきっかけになり、自然環境の改善につながればいいですね。環境問題も防災の試みも、一人ひとりの小さな行動が大きな結果を生み出すのではないかと期待しています。